

# 目指す銀行像—— お客さまに信頼と利便性、 高い満足度を提供する 魅力のある、活力あふれる銀行

## CONTENTS

ごあいさつ	3
業績推移(単体情報)	5
より豊かに～法人のお客さまへ～	
地域密着型金融の推進	9
ライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮	11
地域活性化への積極的な貢献	15
もっと近くへ～個人のお客さまへ～	
ライフステージに応じた商品、サービスのご案内	17
オムニチャネル化	21
よりよい未来のために～CSR～	
ダイバーシティへの取り組み	23
文化・スポーツ振興	24
地域貢献・社会福祉活動	25
ご相談・ご意見受付窓口の設置	25
金融犯罪防止への取り組み	26
経営管理態勢の高度化への取り組み	
コーポレート・ガバナンスの状況	27
リスク管理態勢	32
コンプライアンス態勢	34
配当金・株主優待制度のご案内	
配当金・格付機関による評価	37
株主優待制度	38
コーポレートデータ	
沿革	39
役員	40
従業員	40
組織図	41
業務内容	42
グループ会社	42
主な手数料一覧	43
店舗・店舗外ATMコーナー一覧	45
店舗地図	49

### ◆当行のプロフィール

名称	株式会社京葉銀行
英文名称	The Keiyo Bank, Ltd.
設立	昭和18年3月31日
資本金	497億円
本店	千葉市中央区富士見1丁目11番11号
拠点数	277ヵ所 本支店:117 出張所:2 店舗外ATMコーナー:158
従業員	2,119名
総資産	4兆5,951億円
預金	4兆2,388億円
貸出金	3兆2,712億円
自己資本比率 (国内基準)	単体11.23% 連結11.26%
格付	A-(S&Pグローバル・レーティング) A+(株式会社日本格付研究所)

(平成29年3月31日現在)





取締役頭取

熊谷俊行

取締役会長

小島信夫

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
このたび、「2017京葉銀行レポート」を作成いたしましたので、ご案内申し上げます。ご高覧のうえ当行に対するご理解を深めていただければ幸いです。

日本経済は、輸出・生産面で持ち直しの動きがみられるほか、雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費も底堅さを増すなど、今後も緩やかな回復基調が続くと期待されています。一方で、人口減少や少子高齢化といった構造的な変化が一段と進展するなか、地域社会・経済においてはさまざまな課題が顕在化しており、地域金融機関には、金融仲介機能の発揮やお客さま本位の良質なサービスの提供を通じて、地域経済の活性化にこれまで以上に積極的に関与していくことが求められております。

このような環境下、当行は、第17次中期経営計画「α ACTION PLAN 2018」を推進しており、平成29年度はその最終年度となります。計画の副題に掲げる『変革と実行』のもと、「地域活性化への積極的な貢献」、「将来を見据えた経営基盤の構築」、「経営管理態勢の高度化」の3つの経営課題に取り組み、当行の「次なる成長」へ繋げてまいります。

## 地域活性化への積極的な貢献

当行は創業以来、「お客さま目線」を第一に業務運営を実践しており、引き続き地域密着型金融の推進を通じて、地元千葉県とともにさらなる成長、発展を遂げていくことが重要であると認識しております。法人のお客さまには、経営者との対話を通じて、事業内容や成長可能性を見極め、融資や本業支援等、経営課題の解決へ最適なソリューションを提供してまいります。また、個人のお客さまには、フィデューシャリー・デューティー（顧客本位の業務運営）の精神に則り、多様化するニーズや利益に真に適うサービスや商品の提供に努め、安定的な資産形成を後押しするなど、質の高いコンサルティング機能を発揮してまいります。

## 将来を見据えた経営基盤の構築

少子高齢化やIT化の進展等、環境変化への確に対応するため、お客さまが、いつでも、どこでも、便利で安心、快適なサービスをご利用いただける「オムニチャネル化」を推進してまいります。本年4月に開設した「インターネット支店」をはじめとし、非対面チャネルの一層の充実を図っていくほか、印鑑レス、通帳レス、ペーパーレスの促進により、来店時の手続負担を軽減する「次世代型店舗」を順次拡大するなど、先進的なサービスの導入に努めてまいります。また、常にお客さまへ「プラスアルファ」の付加価値を提供できるよう、専門性の高い「人財」の育成やダイバーシティを推進し、「働き方改革」を通じた生産性向上に取り組んでまいります。

## 経営管理態勢の高度化

海外経済の不確実性、低金利環境の長期化等、経営を取り巻く各種のリスクに適切に対処するとともに、法令および企業倫理の遵守を徹底し、コンプライアンスに対する意識啓発に努めてまいります。加えて、コーポレートガバナンスの強化や、CSR（企業の社会的責任）を意識した経営の実践により、持続的成長と中長期的な企業価値の一層の向上を目指してまいります。

こうした取り組みを通じて、全てのステークホルダーの皆さまのご期待にお応えできるよう、京葉銀行グループの役職員一同全力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月

## 第17次中期経営計画 期 間 3年間(平成27年度～平成29年度)

## α ACTION PLAN 2018 ～持続的成長へ向けた「変革と実行」～

目指す  
銀行像

お客さまに信頼と利便性、  
高い満足度を提供する魅力のある、活力あふれる銀行

3つの  
経営課題

- 1 地域活性化への積極的な貢献
- 2 将来を見据えた経営基盤の構築
- 3 経営管理態勢の高度化

計数目標

平成30年3月期

当期純利益	自己資本比率	OHR	預金残高	貸出金残高
140億円	12%程度	65%程度	4.4兆円程度	3.4兆円程度

※当期純利益、OHRについては平成28年5月11日に目標の見直しを行っています。